

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

				提出日	R7.6.23		
担当		課名	健康福祉課				
		グループ名	健康増進グループ				
		記入者名					
1 事業概要				(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(1)事業名 健康増進事業費				(4)第5次総合振興計画での位置づけ			
(5)予算・財源等の別				(6)実施根拠			
(7)総合戦略				(8)事業の目的・内容等			
(9)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(10)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
(11)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)				(12)SDGsへの貢献			
3 すべての人に 健康と福祉を 							
3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)							
(1)事業(内容) 項目 名称		健康増進事業費					
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算	今年度(R7年 度)当初予算	
業 費 内 訳	報酬	87	64	64	174	87	
	報償費	13	256	343	340	391	
	需用費	317	383	554	618	767	
	役務費	166	170	454	209	246	
	委託料	8,491	12,620	13,994	13,303	12,811	
	その他	0	0	0	0	0	
	直接事業費合計	9,074	13,493	15,409	14,644	14,302	
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	100	162	187	324	690	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	1,645	1,427	1,304	1,529	
	一般財源	8,974	11,686	13,795	13,016	12,083	
	合計	9,074	13,493	15,409	14,644	14,302	
(4)補助金名		健康増進事業費補助金	健康増進事業費補助金	健康増進事業費補助金	健康増進事業費補助金、効果的な熱中症予防対策支援事業補助金、マイナンバーカード連携体制整備事業補助金		
(5)人件費		投入職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
年間人件費		3,814	3,771	3,761	3,886	4,016	
(6)総事業費		12,888	17,264	19,170	18,530	18,318	
サービス量(人)		1,777	4,639	4,654	5,806	6,442	
サービス単価		7.3	3.7	4.1	3.2	2.8	
(単位)		千円/参加者1人当たり					

4 指標の検証		健康増進事業費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	がん検診受診者数(人) (総振目標指標P83) R7年度目標値 4438人	目標値 実績値 達成率	人 人 %	4,438 2,989 67.4	4,438 2,619 59.0
		目標値 実績値 達成率	人 人 %	100 133 133.0	100 122 122.0
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	がん検診精密検査受診率	目標値 実績値 達成率	% % %	90 79 87.8	90 — —
		目標値 実績値 達成率	人 人 %	5 5 100.0	5 — —
(3)その他指標に現れない成果					
R6年度がん検診受診者の「がん検診精密検査受診率」及び「がん発見者数」の実績値の把握はR8.5月となる(精密検査は翌年度末まで受診した者を集計のため)。 がん精密検査受診率は未受診者勧奨を行い増加傾向(R4:67%→R5:79%)、がん発見者数も増加傾向(R4:4人→R5:5人)。集団がん検診受診者アンケートでは「ホッカイロを配ってくれて嬉しかった」「案内が分かりやすい」「誘導が丁寧」「夏の検診に戻してほしい」等の意見があった。					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
がん検診受診者数が前年度より減少しており、目標達成できていない。受診者数が少ない若年層や無関心層の検診に対する関心を高める啓発や、申込み・受診しやすい環境づくり、希望する検診を公平に受けられる機会の提供を行っていく。 がん精密検査受診率は増加傾向にあるが目標達成はできていない。引き続き精密検査が必要な方への受診勧奨を行い、受診行動につながる環境づくりを行っていく。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)					
(2)二次評価 (政策推進課長)	2 現状維持	健康寿命の延伸、医療費の適正化のため、疾病予防の取組、各種健(検)診の受診啓発等を継続する必要がある。			
(3)最終評価 (町長)					